

## お客様情報



### 日本 ATM 株式会社

東京都港区浜松町 1-30-5

従業員数: 1,984名 (2018年1月時点)

創業: 1999年1月



ATM 監視センターを活用した ATM 運用や金融店舗運用アウトソーシングサービスなど、トータルなコンサルティングサービスを提供します。

## 既存 IT 資産を活用した開発で 現場のスピードに相應る改善を実施

ATMの開発・保守・ソリューションサービスなどを手掛け、ATM 監視・運用アウトソーシング事業で日本のトップシェアを誇る日本 ATM 株式会社では、ATM 端末の保守用システムを更新する際、DataSpider を導入しました。バイナリデータや固定長データをはじめ、さまざまなデータの連携を柔軟に行えるようになり、システム開発工数を大幅に削減できました。

### 背景 データ連携ツールで開発工数を削減したい

日本 ATM 株式会社は、その名前が示す通り ATM 専門のソリューションプロバイダーです。

ここ数年の ATM は、同社の製品に限らず Web 化が進んでいます。日本 ATM のようにソフトウェアを開発するベンダーや、ハードウェアのメーカーとが協調し、業界全体で仕様の標準化が行われた結果、今では Web 対応のものが主流になってきています。

日本 ATM では、ATM のユーザーインターフェースだけでなく、ATM の保守運用に関するシステムでも Web 化を進めています。数万台に及ぶ ATM 端末を含む自動機の保守を支援するために同社が構築・運用している「NMS」(New Maintenance System の略) という社内エンジニア用システムについては、2006 年後半から Web 化の具体的な検討がスタートしました。

「それまでの NMS は、クライアント / サーバ型の構成で、サーバ側は C 言語で作っていましたが。新しい NMS、当社では『@NMS』あるいは『WebNMS』と呼んでいます。その開発に際しては、開発効率やシステムの品質、メンテナンス性の向上を考えていました。特に、データベースや他システムとの連携などデータ連携の部分を、コーディングせずに行えるようにしたかったのです」と、当時担当であった吉岡隆徳氏は言います。

## 導入製品



## 導入効果

開発工数を

**10分の1**

に削減



フローがわかりやすく

**流用が簡単**



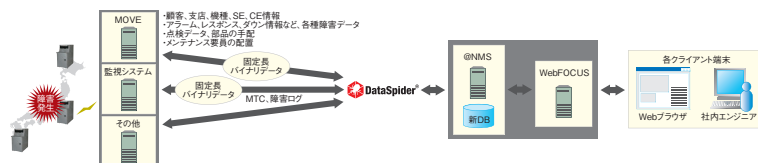
**ユーザー自身**

による

システム開発も可能に



### NMS のシステム構成図



### 導入 バイナリや固定長データにも対応できたのは DataSpider のみ

NMS は、他の社内システムや保守対象 ATM から送られてくる多様なデータを受け取り、データベースに格納して管理しています。このデータ連携部分が、開発工数削減のターゲットとなりました。ただし、ATM に特有の条件を満たさねばなりません。当時担当であった菊池貞氏は、次のように説明しています。

「ATM が出力するデータでは、1980 年代のパンチカード時代から使われている形式が今でも使われています。当時はリソースを節約することが重視されたため、固定長データや、ビット単位で情報を持たせたバイナリデータの形式も使われています。例えば 6 桁のエラーコードを 3 バイトで表すなどの工夫をしていたのです。データ連携を行うには、そういったデータ形式に対応できるものが必要でした」

ATM ならではの固定長やバイナリ形式データに対応したデータ連携ツールとして、日本 ATM は最終的に、株式会社アシストが提案した DataSpider を選定しました。

「各種のデータ連携ツールはもちろん、外部のソフト会社に開発してもらうことも含めて、いろいろな方法を検討しましたが、バイナリデータに対応できるものは他にはありませんでした。そんな中で、DataSpider は、事前にトライアルを行ったところ、きちんと対応できました。また、アシストさんからの手厚い技術サポートがあったので、初めて使う DataSpider に抵抗がなく、安心感がありました。」(菊池氏)

基本的にプログラミング不要でデータ連携を行う、という日本ATMの目的に合致したものは、DataSpider以外になかったということになります。

**効果** コーディング不要だけでなく流用も容易で、工数は「従来の10分の1か」。さらにATM保守を担当するユーザー自身が開発を行える可能性も出てきた

@NMSの開発にDataSpiderを採用することが最終的に決まったのは、2007年4月のことだったそうです。DataSpiderを使った開発には、菊池氏を中心とした3名が携わりました。菊池氏とともに当時開発に携わった、松本和徳氏は「@NMSの開発は、時間的な都合もありましたし、今後の保守体制などの都合もあって、開発の分担が行われました」と説明しています。そこでまず、パイロット的なモジュールを作ってみたところ、すぐに使いこなせるようになったとのこと。

「@NMSが接続する別の社内システムに、サービス要員をディスパッチしたり部品の手配を行う『MOVE』というシステムがありますが、このMOVEでGUIでの開発は経験済みでしたから、あまり違和感なく利用できましたね。むしろ、MOVEでの経験があったから、似たような感触で扱えるDataSpiderを選んだとも言えます」と菊池氏は言います。

@NMSは約半年の期間で開発を終え、2007年10月には従来のNMSからの移行が行われました。実際のシステム構築に要した期間は3カ月程度だとのこと。このうち、データ連携の部分に関しては、DataSpiderを活用したおかげで工数は大幅削減できました。

「具体的に測ったわけではなく、あくまでも想像ですが、従来のようにコーディングするのと比べたら、DataSpiderは10分の1ほどの工数で開発できているのではないかと思います。例えば、処理の流れを1つ作ってしまえば、他の処理に応用するのも簡単です。すでに作っておいたフローを流用し、別のデータの処理フローを作れるので、非常に生産性が高いですね」と、菊池氏はその効果を高く評価しています。

また、チームワークにも、DataSpiderは効果を発揮しました。

「フローが一目で分かるので、自分が開発したものでなくても、すぐに内容を把握して流用することができます。今後、新しい要員が加わったときにも、この特性は役立つでしょう。他にも、バージョンの自動管理などの機能があり、とても助かっています」（菊池氏）

一目で分かるという特徴は、今後の@NMSのメンテナンスにも大いに役立つと期待されています。

「これまでのシステムだと、開発した人が異動で他部署に移ったときには、昔のシステムのメンテナンスは難しいものになりました。しかし、DataSpiderなら、フローをすぐに分かるので、その心配はなさそうです。新しい要員が入ってきたときでも、既存のシステムを理解でき、手を入れられると思います」（菊池氏）

保守性の向上だけではありません。開発が容易になったことから、エンドユーザー自身によるシステム開発も期待できます。菊池氏によれば、実際に@NMSのユーザーであるATM保守エンジニアにDataSpiderを使ってもらったところ、数時間で理解したそうです。

吉岡氏は、DataSpiderの今後の活用について、次のように語っています。

「システムが複雑になるにつれて難しくなりましたが、本来ならシステムを使う人間が自ら作るのが良いと思っています。そこで、社内インフラでは、システム間のデータ連携が必要とされる場面が多いので、DataSpiderの活用を検討していきます。今後、こういった社内インフラに関してはできるだけ現場でやっている人たち自身で作っていくようにしていきたいですね。そのことは、社員のキャリアパスの自由度を高めることにも繋がるはずですから」

- HULFT、その他HULFT関連製品は、株式会社セゾン情報システムズの登録商標または商標です。
- DataSpider Servistaは、株式会社アプレッソの登録商標です。
- 記載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本カタログに記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示（TM、®）を付記していません。

**HULFT**

## 株式会社 セゾン情報システムズ

HULFTフリーダイヤル ☎0120-80-8620

※利用時間 9:30~17:00 (土・日・祝日および年末年始を除く)

URL [www.hulft.com](http://www.hulft.com) e-mail [info@hulft.com](mailto:info@hulft.com)

### HULFT事業部

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1  
赤坂インターシティAIR 19F  
TEL 03-6370-2310

### 中部事業所

〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19  
住友生命名古屋ビル 21F  
TEL 052-588-5591 FAX 052-588-5592

### HULFT Pte. Ltd.

80 Raffles Place, UOB Plaza 1, #36-15  
Singapore 048624  
TEL +65-6248-4625 FAX +65-6248-4501

### Saison Information Systems CO., LTD

EMEA Office  
6th Floor, First Central 200, 2 Lakeside Drive  
London, NW10 7FQ, United Kingdom

### 西日本事業所

〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-5-16  
肥後橋MIDビル 4F  
TEL 06-6479-1151 FAX 06-6479-1152

### 九州サテライトオフィス

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-27  
九動博多駅前ビル  
TEL 092-434-4527 FAX 092-434-4528

### HULFT, Inc.

1820 Gateway Drive,  
Suite 120 San Mateo, California 9440480  
TEL +1-650-393-4930

### 世存信息技术(上海)有限公司

中国上海市长宁区天山西路1068号D栋3楼B单元  
TEL +86-21-6239-9201 FAX +86-21-6239-9321